

鶏が先？それとも？

7年前、このコラムに「春は黄色が特に似合う」と書いたことがありました。春を告げるマンサクや水仙、何より体の半分もあるようなランドセルを背負った新1年生の黄色い通学帽。交通安全で大人の手本を示そう、と呼びかけたものでした。さて今は？

自責も含め少し恥ずかしいのは、歩行者のいる横断歩道で車が一時停止しない全国ワーストが本県、との報道。長野県は停止率全国トップで、我が方は違反という意識も低いのだと。本当に気をつけましょう！

昨秋、締結40周年を記念して姉妹都市オーストリア共和国・チロル州セルデン町を訪ねました。そこで驚かされた気付きが一つ。「信号機がなくなっている」こと。正確には、首都や州都にはあるが最小限という印象で、中小規模の街には探しても信号機が見当たらない。あれだけのリゾート地で、車が多く行き交うセルデンにも歩行者用も含めて。

一方、横断歩道の設置の多さには目を見張りました。歩行者が立ち、ある

いは近づけば止まらない車は皆無で、そこ以外で道を横切る人がいないことも驚きでした。聞けば、横断歩道上の事故は車の過失割合が高いが、逆にそうでない場所は歩行者の過失が高いという。ハッとしました。被害と加害権利意識が極端過ぎると思える現在の日本。私たちの常識が通じないと知らされることは他にも。

雪山のスキークース外には「この先パトロールリミット」と書かれた小さな注意看板が掲げられるだけ。行くのは自由だがあなたの責任、と解されるか。険しい山道にも街の道路や歩道、踏切にさえも日本のようなガードレールの林立はないのです。例えば、雄大なアルプスに切妻屋根と窓辺を飾る花々の美しい風景。誰もが憧れる彼れ地ですが、実は景観保護の決まりがあつて植栽が義務化されている。「でが飾ります」と誇らしげな住民。

鶏が先か、それとも卵か？の例え話があります。成熟した大人な社会とはどちらなのか、と思えてならなかったのです。

シリーズ 第132回

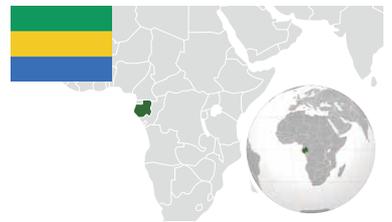
国際大学留学生 お国自慢コーナー ~boast of my country~

ガボン共和国 オセル スティーブンス オビタンバ ジュンガ さん



私の国はこんなところ

ガボンはアフリカ大陸中部に位置する、ギニア湾に面した国です。国の中央部に位置するロペ国立公園には、さまざまな野生動物や先史時代の住まい・生活の跡、岩絵があります。北西部の海岸に位置する首都で最大都市のリーブルヴィルには、近代的な建物と植民地時代の建物が混在しています。また、第2の都市のポール・ジャンティには活気あふれるビーチがあります。ガボンの歴史は、先住民の文明とフランスの植民地化から成ります。国土面積の80%は手つかずの自然が残り、国は、国土面積の11%を国立公園に指定し、環境保全に積極的に取り組んでいます。



南魚沼市に住んで感じたこと

日本は自然が美しく、特に豊かな自然を誇る南魚沼は街全体が美しく、リラックスできる特別な場所です。私は現在、国際協力機構（JICA）の奨学生として、国際大学の日本・グローバル開発学プログラムで学んでいます。国際大学は学業のみならず、楽しみも多い大学院です。生涯に続く多くの仲間と出会うことができました。

お知らせ

市報みなみ魚沼の発行は、4月から月1回（1日発行）になります。4月15日号の発行はありません。

今月の表紙

子育て支援センターの「ほのぼの広場」では、親子で楽しめるさまざまな遊びの時間があります。六日町会場の「サーキットの日」には、組み合わせた遊具を周回して体を動かす遊びが行われ、多くの親子が訪れ、全身を使って運動をして楽しんでいました。



市民の動き 令和6年2月末日現在 ( )は対前月比

●人口 53,182人(-72) / 男 26,038人(-35) 女 27,144人(-37) ●世帯数 20,321 (-15)